

## 松本のお稲荷さん探訪

### 30日7カ所巡るツアー

松本市の松本城東側から女鳥羽川にかけて点在するお稲荷さん(稲荷神社)を巡るツアーが30日、まち歩き体験ツアー「ココブラ信州」の一つとして開かれる。一帯はかつて武家屋敷や花街があり、さまざまなお稲荷さんがまつられてきたといい、市立博物館の臨時職員で神奈川大学の大学院生として民俗

(第3種郵便物認可)

学を研究している市東真一さん(27)が7カ所を案内する。お稲荷さんツアーは2回目で、今回の目玉は北深志1の「福德稲荷大明神」だ。東京帝国大学医学部教授で旧市立松本病院の建設に尽力した近藤次繁(1865~1944)の生家に祭られていたお稲荷さんになるとい

う。現在地は生家から

西側へ移され、地域住民が大切に管理しており、かつては白狐像を近藤は、細菌学者・野口

英世(1876~1928)のやけどをした左手を手術した人物としても知られている。

市東さんは「女鳥羽川流域にはお稲荷さんが多く祭られている」とし「見過ごされがちな身近な風景のお稲荷さんにも目を向ける機会になれば」と話す。

定員は10人で、参加費は1500円(保険料、資料代)。問い合わせはココブラ信州の運営事務局(☎0263・35・9800)へ。(小岩井貴之)



まち歩き体験ツアーで巡る福德稲荷大明神